

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	憲法A (Constitutional Law A)		
ナンバリングコード	E30503	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 法律学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	選択必修: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E016901	クラス名	-
担当教員名	鈴木 照夫		
履修上の注意、履修条件	他の科目の修得を履修条件とすることおよび人数制限は行いません。 ・講義内容をしっかりとノートにとってください。 ・私語をしないようにしてください。 ・携帯電話等は電源を切って鞆の中にしまっておいてください。 ・六法その他日本国憲法の条文を参照できるものを持参してください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	「憲法」 芦部信喜著 高橋和之補訂(岩波書店)		
関連科目	日本国憲法、憲法B、行政法、労働法		

○基本情報							
授業の目的	日本国憲法は、専断的な権力を制限して広く国民の権利・自由を保障するという立憲主義の思想に基づく憲法である。この立憲主義の考え方をしっかりと身につけたうえで、日本国憲法の内容、現実の社会における運用を理解することが目的です。						
授業の概要	憲法Aでは、日本国憲法の基本理念、人権総論、包括的基本権と法の下での平等および精神的自由権を取り扱います。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「講義形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「該当なし」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「講義形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
(1) 授業の形式	「講義形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」						
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	身近な社会関係において、憲法の果たす役割を考えることができる。	10点		
【知識・理解】	日本国憲法の内容、現実社会における運用について基本的知識を身につけている。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】	現実社会において憲法が果たす役割を的確に説明することができる。	10点		
【思考・判断・創造】	立憲主義の考え方を身につけ、その上で憲法の今日的課題について論理的に考えることができる。	10点		

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
特になし

○その他

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	憲法A (Constitutional Law A) 鈴木 照夫	授業コード	E016901
学修内容				
1. オリエンテーションおよび憲法の意義 講義の到達目標、授業計画、教科書・参考図書、受講上の注意事項、評価方法などについて説明した後、「憲法」とはどのような「法」かについて概説します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理			約2時間
2. 立憲主義 個人の権利・自由を確保するために国家権力を制限することを目的とする立憲主義の意義について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理			約2時間
3. 日本国憲法の基本原理 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義という日本国憲法の基本原理とそれら相互の関係について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える			約2時間
4. 人権総論(1) 日本憲法における人権の観念は、憲法11条に最もよく具体化されています。そこで表されている人権の固有性、不可侵性、普遍性について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える			約2時間
5. 人権総論(2) 人権の内容について、自由権、参政権、社会権に大別して説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える			約2時間
6. 人権総論(3) 人権の享有主体に関して、天皇・皇族、未成年者、法人、外国人の人権について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・マクレーン事件最高裁判決についてレポート作成			約2時間
7. 幸福追求権 「新しい人権」の根拠となる規定である憲法13条の「幸福追求権」の法的性格について説明した後、プライバシーの権利および自己決定権の意味を考察します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・京都府学連事件最高裁判決についてレポート作成			約2時間
8. 法の下での平等 法の下での平等の意味、違憲審査の基準および具体的内容について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・尊属殺重罰規定の合憲性についてレポート作成			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	憲法A (Constitutional Law A) 鈴木 照夫	授業コード	E016901
学修内容				
9. 精神的自由権(Ⅰ)—内心の自由(1) 内面的精神活動の自由に関して、思想・良心の自由の保障の意味、内容およびその限界について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・良心の自由と謝罪広告の強制についてレポート作成			約2時間
10. 精神的自由権(Ⅰ)—内心の自由(2) 信教の自由の保障の意味、内容およびその限界について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・政教分離の原則についてレポート作成			約2時間
11. 精神的自由権(Ⅰ)—内心の自由(3) 学問の自由の保障の意味、内容およびその限界について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・大学の自治についてレポート作成			約2時間
12. 精神的自由権(Ⅱ)—表現の自由(1) 表現の自由の価値、知る権利およびアクセス権について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える。			約2時間
13. 精神的自由権(Ⅱ)—表現の自由(2) 表現の自由の内容に関して、報道の自由、性表現・名誉毀損的表現について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・チャタレイ事件判決についてレポート作成			約2時間
14. 精神的自由権(Ⅱ)—表現の自由(3) 表現の自由の限界について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える。			約2時間
15. 精神的自由権(Ⅱ)—表現の自由(4) 集会・結社の自由および通信の秘密について説明します。				
予習	講義資料をノートに筆写し、よく読み込み理解する。			約2時間
復習	ノート整理・事例について考える。			約2時間
16. 期末試験 第1週から第15週までの内容について試験を実施します。				
予習				
復習				